

びわこ豊穡の郷は

まちのコインに加盟しました！

まちのコインは、ひと・まち・地球にうれしい体験で地域とつながるコミュニティ通貨（地域通貨）サービスに加盟しました。コインを「もらう」のも「あげる」のも地域の仲間です。滋賀県の地域通貨は『ピワコ』です。

まちのコイン

びわこ豊穡の郷の事務所に寄っていただくと50ピワコを差し上げます。また当法人のさまざま活動に利用できるようにいたします。滋賀県内でご利用できる場所が増えているので、ぜひこの機会にご登録ください。

ほたるの森資料館 ホームページリニューアル

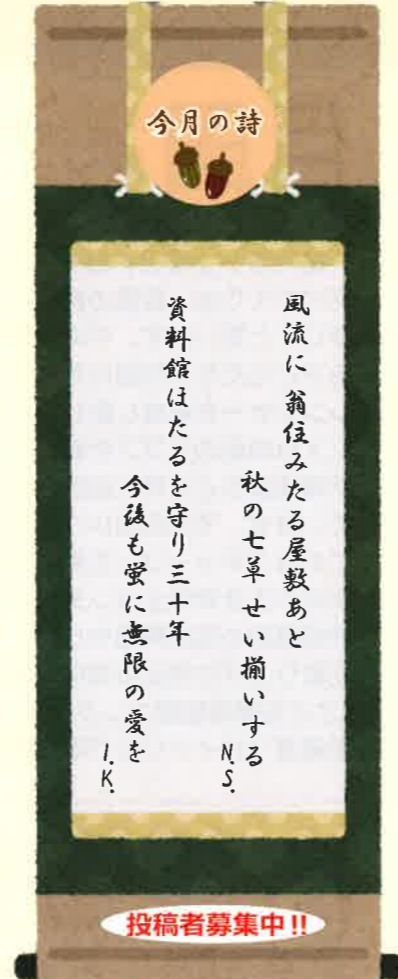
ほたるの森資料館のホームページが新しくなりました。どうぞご覧ください。



各種ボランティアのご案内

「ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現」と「琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現」が目標です。同じ地域で暮らすもの同士が緩やかな人間関係の中で、誇りに思う地域の活動をしませんか？

- ・目田川モデル河川づくり（毎月第3土曜日 9:00～11:00）
ホタル自生に向けた河川整備、目田川河川公園のゴミ拾い、草刈りなど
※刈払い機を操縦できる方大募集
- ・守山ほたるパーク&ウォーク、水辺の楽校、学区民のつどいなど
各種イベントのお手伝い
- ・広報誌作成、ホームページ作成・運営、SNSの発信のお手伝い
- ・水質調査（年4回）、ホタル飛翔調査（5月上旬～6月上旬）など調査研究



投稿者募集中!!

びわこ豊穡の郷 公式アカウント



#めざせフォロワー 3000人

皆さんのフォローを
お待ちしております

2022年度これからの活動予定

開	開催日時	場	活動場所		
◎	第6回ホタル講座	開	12月3日(土) 13:30～	場	ほたるの森資料館
◎	びわこ豊穡の郷 冬季休暇	期	12月28日(水)～2023年1月4日(水)		
◎	川づくりフォーラム	開	2023年1月29日(日) 14:00～16:00	場	開催場所、開催形式未定
◎	赤野井湾・小津袋クリーン大作戦	開	2023年2月25日(土) 9:00～12:00	場	赤野井湾周辺
毎	ホタル講座（毎月第1土曜日 13:30～15:00）	毎	目田川モデル河川づくり（毎月第3土曜日 9:00～11:00）		

しじみのひとりごと

山粧（よそお）う。秋の山が紅葉する様子を「山粧う」と云われています。また春の山のさわやかな初々しさは「山笑う」。夏の山のおおあおとして、みずみずしいのは「山滴る」。冬の山の枯れた寂しさは「山眠る」との事です。皆様ご存知のように。めぐる季節それぞれの山の表情をとらえたのは11世紀の中国北宋時代（中国の王朝 960～1279）の画家のことに由来していると教わりました。まるで山が生きているように、そこに宿る草木が生い茂っては、色づき、枯れ、又芽吹く一年を言い表しているようです。今はもう宙の人となってしまうた亡き友と、永源寺の紅葉をゆっくり巡った日が、懐かしいです。我が庭のわずかな紅葉を、しみり眺めながら…

N.S.

豊穡の郷 Vol.97

2022年11月20日発行 発行部数 1,800部

発行 認定 NPO 法人びわこ豊穡の郷 E-mail houjiyounosato@lake-biwa.net
理事長 金崎いよ子
住所 守山市勝部五丁目10-25
TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)
FAX 077-558-5007
URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/

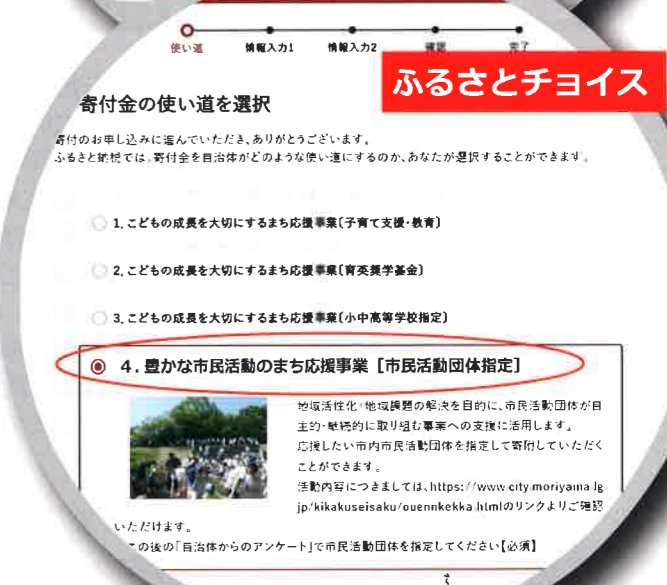
- 1面 守山市『豊かな市民活動のまち応援事業』認定団体決定
- 2面 みんなの河クリーン作戦、水辺の楽校、吉身幼稚園園川遊び
- 3面 目田レンジャー大活躍、広報啓発活動、まもひかランタン作り
- 4面 今月の詩、しじみのひとりごと



ふるさと守山応援寄附（ふるさと納税）
「豊かな市民活動のまち応援事業」
認定団体に登録されました！

守山市の「ふるさと納税」にご寄付いただくことで、びわこ豊穡の郷の活動を応援することができるようになりました。当法人は1996年に設立し、今年で27年目になります。27年続けてきた、ゲンジボタルが飛び交う故郷“守山”の環境がこれからも続くよう、次世代のライフスタイルに合わせた関わり方を模索し、持続可能な取組みにするために寄付金を活用します。守山市が登録しているふるさと納税サイトは3サイトです。『楽天ふるさと納税』『ふるなび』『ふるさとチョイス』こちらのサイトからご寄付ください。方法は、お好きな返礼品を選び、それから寄付先に“豊かな市民活動のまち応援事業”の中の“びわこ豊穡の郷”を選んでください。以上で豊穡の郷に寄付ができます。いただいた寄付金の半額が来年度の『水辺の楽校』『赤野井湾探検会』『生き物観察教室』『小さな自然再生』の活動資金になります。守山市内在住者には返礼品ができません。守山市外にお住まいの方はぜひご寄付をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

ふるさと納税はこのコロナ禍で増加傾向にあるそうです。守山市の寄付総額は令和2年度から令和3年度にかけて2倍に上昇しました。ふるさと納税は身近なものになりつつあります。年末にかけて、ふるさと納税をお考えの場合はぜひ守山市にご寄付をよろしくお願いたします。



みんなの河川

小津学区 クリーン作戦

10月9日(日)新守山川において小津学区にお住まいの会員や区民の方々とびわこ豊稗の郷が協力して、胴長や長靴を用い、河川の中の清掃活動を行いました。都賀山中の島大橋付近を中心に川に入り、よく見るとレジ袋、空き缶、空き瓶、ビニール袋、マスクなど、私たちの身の廻りにある生活用品が川底で砂や泥に埋もれています。一見きれいに見える川も入ってみると

ゴミの山です。どの川も琵琶湖・赤野井湾に繋がりゴミも一緒に流れていきます。赤野井湾再生に向けゴミは地域の河川で食い止める。これは私たちの責任です。年1回の企画ですが、日頃活動に参加できない会員対象に、お住まいの学区にある河川に出向き、協力して清掃活動をしています。次回は未定です。ご要望があればご一報下さい。お待ちしております。



小津子ども園付近
新守山川にて



参加くださった皆さん

水辺の楽校 夏編

8月27日(土)水辺の学校が開催されました。子ども達がたくさん集まってくれました。開会式が終わると早速目田川周辺のゴミ拾い。目田川は人工的に作られた川ですがとても自然豊かでホタルも飛ぶ魅力ある川です。これからもホタルが飛び続ける川であり続けますように。そのために私たちが川を美しく保っていかなければなりません。さて、ゴミ拾いもわずかな時間ではありましたが沢山のゴミが集まりました。みんなで少しゴミ拾いをすることでこんなにゴミが集まります。

一人ひとりのちょっとした積み重ねがこれからの川を、そしてびわ湖を守っていくことに繋がります。実は汚れてしまったペットボトルをリサイクルに出すことはできません。ゴミになる前にリサイクルを心掛けていきましょう。また湖へ流れ込んでしまったゴミは回収することが難しいのです。湖に流れていってしまわないように道端でゴミを見かけたら拾うなどちょっとしたことだけれど心がけていきましょう。水辺の学校での体験が子ども達の成長と思いに繋がりますように。参加して



ゴミのお話

くださった方々やスタッフはみんな楽しそうに活動を行っており、あっという間だったという声もいただきました。皆さま、お疲れ様でした!

吉身幼稚園川遊び

9月6日(火)この日はなぜかいつもよりも最寄り駅まで自転車が早く進みました。心の中でとても楽しみにしていたようです。私たちはこの日のために様々な準備をしました。こどもたちに正しい知識をつけてもらうために、自分たちも目田川にどのような生き物がいるのか勉強しました。そして、自分が発見した以上の種類の生き物が川で生活していることを知りました。当日は私たちが教える番で、写真を見せながら話し

ました。なかには川遊びがしたくてまらない子もいたと思いますが、みんなが興味津々で話を聞いてくれました。もし私が大学の先生だったらみんなに単位をあげちゃうなと思ったので、大学ではこどもたちの態度をまねようと思います。この日は台風で延期になる可能性もありましたが、無事開催できてよかったです。そういえば朝も風が強かったな...

水辺の楽校・吉身幼稚園川遊びの記事は今年度インターンシップの学生が寄せてくれました!!



事前勉強会



子どもたちの
真剣なまなざし

目田レンジャー大活躍!

毎月第3土曜日の目田川でのモデル河川づくりは、会員の皆さんもよくご存じだと思います。その活動に参加する子どもたちが目田川を守ろうと目田レンジャーを結成しました。毎月お気に入りの色のピブスを着用して、ゴミ拾い、水質調査など元気に活動してくださっています。その目田レンジャーたちが、このほどキョーリン主催の『メダカと水辺の生き物博士コンテスト』の「大賞」や琵琶湖の環境問題やリサイクルなどを取り上げた守山市環境政策課主催の『こども環境新聞コンクール』で「滋賀県資源リサイクル事業協同組合賞

小学生低学年の部」、「守山環境株式会社賞小学生高学年の部」で相次いで受賞されました。この頼もしい子どもたちに負けないように私たちも頑張らなくては!と思うと同時に、当法人の課題となっている次世代育成も動き出したことを実感するこの頃です。



メダカと水辺の生き物博士コンテスト
受賞作品はこちら↓
<https://www.kyorin-net.co.jp/medakacon2022/>



環境新聞コンテスト



キョーリン
大賞



広報啓発活動

ホタルのことを知ろう

(地球市民の森のつどい・守山学区民のつどい・もりやまエコフェスタ)

地元への広報啓発活動として、多くの市民にもっとゲンジボタルのことを知ってもらおうと計画を立てました。情報発信部員で、資料館の古川館長に教わりながら、幼虫が上陸し土にもぐりサナギになるまでの飼育装置(蛹化装置)の模型を組み立て準備を整えましたが、新型コロナウイルス予防のため、今年も学区民のつどいは縮小となり、

外部からの参加募集がありませんでした。そのような中で、地球市民の森のつどい、守山学区民のつどい、もりやまエコフェスタに参加することができ、ブースに来てくださる皆さんに蛹化装置を使いわかりやすくホタルの生態を説明することができました。



もりやまエコフェスタ

まもぴかランタン作り

ハロウィン直前の10月29日(土)に「まもぴかランタンワークショップ」をあまが池プラザで開催しました。「まもぴか」はホタルがまぶしくないように設計されたランタンです。「光害」の存在をより広く知ってもらうために、びわこ豊稗の郷とVoCで共同開発しました。イベント当日は子ども達を含む11組の親子が制作に参加しました。ホタルの生態やホタルと守山の歴史の話などを聞いてもらいながら、オリジナルまもぴかを製作してもらいました。その後は、思い思いにデ

コレーションしたまもぴかを持ち、うの家までの道のりを仮装して練り歩きました。子ども達が持つまもぴかのやさしい光と蔵の風合いそしてハロウィンの雰囲気は良く調和していたのが印象的でした。

まもぴかを持って
仮装をして街なか
を散歩しました。



うの家にて

博士の仮装でヨジのお話